

# うちなだ



議会だより

UCHINADA

Vol. 99 平成21年〔2009〕  
10月27日 発行

ツール・ド・のと400  
内灘を発着に1490人が疾走



総合体育館を耐震補強・改修工事 2P

福祉センターの今後は -委員会レポート- 6P

いっぱん質問 -8人が登壇- 8P

突撃! 街かどインタビュー〜 高桑真弓さん(千鳥台) 17P

石川県内灘町議会

# 総合体育館 耐震改修に

# 3億 850万円

平成21年第3回定例会が開催され、補正予算6件のほか、条例2件、財産の取得など13件の議案を審議し、すべて原案のとおり可決しました。一般会計では、5億3056万円を追加し、総額が85億6403万円となっています。また、公平委員1名と教育委員2名の選任に同意しました。

## 一般会計

### 耐震改修と施設の充実

内灘町総合体育館の耐震改修工事を行なう。3億850万円。主な工事の内容は次のとおり。

- ・耐震補強対策
  - ・省エネ対策
  - ・バリアフリー化
  - ・子育て支援対策
  - ・多目的スタジオ設置
- (6ページに関連記事)

### 「フラッツうちなだ」へ

きらめき熟年大学の「からだの健康」部門を委託、72万5千円。

### 安全安心な施設に

向粟崎・北部保育所の遊具などを修理80万円。

### 女性特有のがん検診

子宮がん・乳がん等の検診。無料クーポンで手軽に受診、77万8千円。

### 公園の環境整備

大根布児童公園の松伐木、枝落とし等の費用に300万円。

### 高齢者住宅の

#### リフォーム助成

2件の追加申請を見込み、100万円。

### 大会出場への補助

中学校部活動の全国大会出場に67万4千円。

### 中小企業の経営支援

利子補給申請件数が、昨年の3倍近く増加したため、260万円。

### すべての学校に導入

小学校へ太陽光発電の新規導入に5千40万円。

### 理科教材の充実

手回し発電機や生物顕微鏡などの理科教材を購入、1189万円。

### 防犯・防災の充実

防犯パトロール車と災害用運搬車の2台購入、578万4千円。

### 子育てを応援

向粟崎女性防火クラブに軽可搬ポンプとAEDに103万円。

3歳から5歳児のそれぞれに3万6千円を支給、2千880万円。(国会で審議中の為未定)



総合体育館 2階で行われたAED講習

9月  
定例議会  
8日～17日

## 人事案件に

同意 (全員賛成)

### 公平委員

藤田 賢英氏  
(再任・室)

### 教育委員

村田 博子氏  
(再任・大根布)

小島 晶子氏  
(再任・アカシア)

## 国民健康保険

特別会計

出産一時金が4万円増

国民健康保険出産一時金が4万円増額、現行35万円↓39万円(平成21年10月1日以降の出産から) 160万円

## 新エネルギー事業 特別会計

風力発電風車での遠隔操作の不具合から、部品交換、366万7千円。

緊急雇用創出事業補助金を次の通り活用します。

雇用目的	人数	期間	予算額
保育所安全点検に	2人	6ヶ月	123万9千円
子育て支援センターでの一時預かりに	2人	3ヶ月	64万2千円
観光施設の調査・パトロールに	2人	3ヶ月	54万8千円
図書館の破損図書を補修に	1人	3ヶ月	21万9千円

## 条例

(全員賛成)

●内灘町国民健康保険条例の一部を改正する条例は、健康保険法施行令等の一部改正に伴い、平成21年10月から平成23年3月までの間ににおける出産育児一時金を「35万円」から「39万円」に引き上げる。

●内灘町職員の再任用に関する条例は、地方公務員法の一部改正に伴い、本町職員の六十歳定年退職者に再任用制度を導入するため、新たに制定。

## 財産の取得に

同意 (全員賛成)

●商業施設用地(白帆台地内2筆)

内灘町内灘北部地区土地区画整理組合より  
2億7060万円。

●消防指揮車1台  
(株)本田商会より

714万円。

●スクールバス1台

日産ディーゼルトラックス(株)より  
1837万円。

●教育用パソコン  
(株)石川コンピュータ・センターより

1869万円。

●地上デジタルテレビ及び電子黒板  
北陸通信工業(株)より

5489万円。

## 第3回

臨時議会

18月19日

## 白帆台 商業ゾーンの取得

白帆台の商業ゾーン  
2筆1万5370㎡  
(約4650坪)を内灘

北部地区土地区画整理組合より取得するため、2億7059万円を追加。  
一方では、町に対して同組合から将来的な整備費用として合計2億7000万円を受ける予定。  
(7ページに関連記事)



商業ゾーン取得地

# 20年度の事業成果を問う



## 決算特別委員会を

## 設置

平成20年度の一般会計・各特別会計9件の決算を審議するため、7人の委員による決算特別委員会を設置しました。

審議は数回にわたり行い、12月議会で経過と結果を報告します。

次回の議会日より（第100号）でお知らせします。

委員長	水口 裕子
副委員長	生田 勇人
委員	中川 達
〃	北川 進
〃	夷藤 満
〃	恩道 正博
〃	川口 正己

## 安心社会実現のため

## 国へ意見書を提出

## 22年度予算の確保を求める

1. 社会保障等の機能強化のため、高齢者医療制度の見直し、少子化対策の抜本的拡充、高額医療費制度の見直しなど、安心社会実現のための必要な施策について必要な予算を確保すること。今年度補正予算に盛り込まれた女性特有のがん検診、難病対策などについては22年度以降も施策を継続して実施できるように十分な予算を確保すること。

2. 22年度概算要求基準に設けられた「重点課題推進枠」では、格差の是正・固定化を防ぐ観点から、雇用対策や低所得者の教育費負担軽減などセーフティーネットの拡充に重点配分すること。

3. 緑の経済と社会の変革の実現に向け、重点配分を行うこと。

4. ゲリラ豪雨など大規模災害の発生に対する災害対策に万全を期すこと。

提出 藤井 良信議員  
賛成 恩道 正博議員  
賛成 生田 勇人議員

# 審査しました あなたの請願

「安心社会実現のため22年度予算の確保を求める意見書」の提出を求める

## ◎請願者

内灘町字向陽台1丁目

291

公明党内灘支部

副支部長 塚田 勝則

## ◎紹介議員

恩道 正博

生田 勇人

藤井 良信

## ◎趣旨

安心社会実現のため、22年度以降も高齢者医療・高額医療制度の見直し、少子化対策の抜本的拡充、女性特有のがん検診・難病対策など予算の確保を求める（賛成10人、反対5人）

## 採択

## 【北川 悦子議員】

これまで財界中心の政治が半世紀を超えて続けられた結果、国民の暮らしからは安心も希望も奪われ、貧困と格差が社会を覆ってきた。こうした中、新政権に安心・安全を求める請願で、特に女性特有のがん検診、難病対策などの継続や、大規模災害の発生に対する対

## 討論

## 【藤井 良信議員】

平成22年度の概算要求基準の中では、「少子高齢化へ向けての年金・医療などの経費や、義務的歳出については、自然増として1兆900億円を認める。」と記されている。その際、無理のない範囲で節約に努め、節約できた分は社会保障に充当するとして、予算編成

## 反対だ！

策に万全を期すことは賛成だが、他の項目が具体的に不明である。緑の経済と、社会の変革の実現とはどういうことか。高齢者医療制度の見直し、少子化対策の抜本的拡充など必要な予算確保とは、具体的な予算のつけどころを提示しなければ国も困る。この観点から反対します。

## 賛成だ！

作業の出発点ともなっている。社会保障に係る対策の実現に向けて、柔軟に対応するための予算の確保、重点配分がなされるべきであるとの請願書の主旨は、「急激な政治的変革は社会に混乱を招きいれる恐れがある。」との懸念に同調することから賛成します。

## 継続審査

- 政府が自ら決めた備蓄ルールに基づいて、20万トン規模の政府米買い入れを求める

(継続に賛成13人、反対2人) [2回目](#)

- 「気候保護法(仮称)」の制定を求める

(継続に賛成12人、反対3人) [3回目](#)

## 不採択

- 物価に見合う年金引き上げを求める

(採択に 賛成2人、反対13人)

理由：文教福祉常任委員会で審議された結果、委員会では全委員一致で不採択となりました。(6ページに関連記事)



鶴ヶ丘地区での震災訓練

## 総務常任委員会

**Q** 政権が変わり、補助事業の未執行分は凍結との報道だが、町にどのような影響があるのか。

**A** すでに内定している分は、国が保証しているという考えから補正予算を計上したものであり、県や他市町とも連携して補助財源の確保に努めた。

**Q** 各消防分団はテントを持っておらず、訓練の都度に公民館から借りてきているが、補助事業を活用し、各分団にテントを配備できないか。

**A** 現在、補助事業で対応できないか県と折衝中である。

**Q** 普通交付税が減額となっているが、減額の理由は何か。国の政策による削減なのか。

**A** 交付税算定の基礎となる基準財政収入額と基準財政需用額が、町の試算と国の算定額に差異があったため、算定基準に基づく減額である。

## 文教福祉常任委員会

### 総合体育館の

### 大規模改修

**Q** 2階に予定しているスタジオは、どのような目的でつくるのか。

**A** 「プラッツうちなだ」と協議し、エアロビや軽体操を行なえるように、スタジオには鏡を張る計画である。

**Q** 弓道練習場の増築とあるが、現状では狭いのか。

**A** オールシーズン練習できるように増築することとした。

**Q** 省エネを求めるなら、床下か屋根裏にするのか費用を算出して決めるべきだ。床下に断熱材を入れても省エネの効果は少ない。

**A** 冬場は、床が冷たく断熱材を入れることで冷えが防げる。屋根裏に断熱材を入れることも検討する。

### 物価に見合う年金 引き上げを求める 請願の審議内容について

この請願の趣旨は、生活必需品の物価高騰に見合う、年金の引き上げと、無年金者・低年金者には、当面「生活支援金」として8万円に達する額を上乗せして支給することを求めている。しかし委員会では、掛金と給付の整合性が保たれないとの判断から、継続審査の案もあったが、採決を行なった結果、全委員一致で不採択とした。



プラッツうちなだが開催する講習会

## 産業建設常任委員会

**Q** 「恋人の聖地」の活動母体となる、NPO法人設立に向けての状況は。

**A** これまで役員等が決まっており、各部会で事業計画、予算を策定中。10月中には設立総会を開催予定。



選定された海賊船イメージ図

**Q** 大根布児童公園の黒松の伐木については、慎重な対応を。

**A** 倒木や枝折れの恐れがあることや、松葉により雨樋が詰まり、屋根等の破損も発生しているため、地元と協議し伐木する。

**Q** 大型遊具（海賊船）のデザインを決めるために小学生から募集した絵を、公園内に展示してはどうか。

**A** 53点の応募があり、公園での展示を検討する。

**Q** 遊具の名前も公募してはどうか。

**A** 公募にむけて検討する。

## 環境開発対策特別委員会

**Q** 白帆台商業ゾーンのスケジュール、企業の募集方法を示せ。

**A** セブンイレブンは、12月4日のオープンに向け準備している。その他の区画は10月から募集を始め、12月には候補者の

選定を行なう。募集方法は、新聞やインターネット等幅広く発信していく。



工事の始まった白帆台商業地

**Q** 現在建物の老朽化、耐震の問題で休館となっている、福祉センターの今後は。

**A** この地域は市街化調整区域で、ホテル建設には県の許可が必要となる。現在のところ2社が具体的素案を持って、興味を示している。今後プロポーザル方式も視野に入れ、あり方を検討する。



今後のあり方が検討される福祉センター

# 8人が登壇



南 和彦 議員

## 新政権による今後の予算への影響は

### 自主財源の増に期待 町長

#### より一層の協力体制をはかれ 積極的に取り組む

南 8月30日に執行された第45回衆議院議員総選挙において新政権となった民主党が、2009年度の国家補正予算の組み替えを示している。

実行された場合本町の2009年度予算について、どのような効果や影響をもたらすと予測するか。

町長 現段階では具体的な中身について示されていないため不透明な部分が多くあるが、地方の自主財源を大幅にふやすことを掲げている。

自動車関連暫定税率が廃止された場合は町の自動車取得税交付金が大幅に減収となり、地域活力基盤創造交付金などが大幅な削減もしくは廃止された場合は、町の道路関係予算は大幅に縮小されると予測する。

#### 協力体制をはかれ

南 本町はもとより県や近隣自治体はこれまで以上に財源の使途について慎重になると考える。

本町の今後の施策展開の中では、県や近隣自治体との整合性や相互協力が重要になると考えるが、見解を問う。

#### 積極的に取り組む

町長 一自治体では解決できない広域的課題や事業においては、町はこれまで積極的に推し進めてきた。さらに、今後広域連携が必要な喫緊の事業として5年後開業を控えた北陸新幹線対策もある。

今後とも行政が互いに補完し合う魅力ある地域づくりに積極的に取り組んでいく。

南 近隣自治体との連動した協力関係を構築するための具体的な動きは。

町長 金沢市に隣接しており、良好な住宅地を提算は、国が責任を持って供し、定住促進をはかる。財源措置を行うべきだ。

町長 議会が議決した予算は、国が責任を持って供し、定住促進をはかる。財源措置を行うべきだ。

南 金沢と能登の結節点でもある、特色を出した町の役割はどう考えるか。必要だ。

町長 本町への交流人口の誘い込みが、能登、県全体の活性化につながる。必要性を重視していく。



9月議会の風景写真

# いっぱん

全問掲載

# 質問



川口 正己 議員

## 肺炎球菌ワクチンを助成せよ

### 実施に向けて早急に検討する 町長

川口 今年5月に発表された日本感染症学会の緊急提言では、新型インフルエンザの重症化を防ぐために65歳以上の高齢者や慢性の呼吸器疾患、腎疾患、糖尿病をわずらっている方に肺炎球菌ワクチンの投与が大変有効とされている。

多くの自治体では、肺炎球菌ワクチンの公費助成を開始しているが、当町でも早急に助成せよ。

町長 高齢者や疾患をお持ちの方々が肺炎球菌ワクチンを接種することで、重症化にならないなど、一定の予防効果が期待できるといふ意見も報告されている。

新型インフルエンザ対策の一環として、高齢者が肺炎を患う主要因となっている肺炎球菌ワクチンの助成について、効果があると判断し、実施に向けて早急に検討する。



手洗い、うがいをしましょう！

### インフルエンザ

### 脳症への対応策は

川口 乳幼児のインフルエンザ脳症は、異常行動が見られたら、早急に小児科の医師に診せなければ重症化する。

町はインフルエンザ脳症の周知方法をどのような方法で行っているのか対応策を示せ。

### 様々な方法で

### 周知したい

町長 家族が、インフルエンザ脳症を早期に発見し、受診対応できるようにリーフレットを作成して、子育て支援センターや保育施設、小学校で配布したい。

さらに乳幼児健診等の案内通知にも同封するなど、周知をしていきたい。

# 第2総合体育館の建設を

## 大切な投資と考える 町長



生田 勇人 議員



総合体育館で開催される各種スポーツ大会

**生田** 多種多様なスポーツへの対応や、町民の活力のために第2総合体育館を建設せよ。

家族ぐるみでのスポーツへの取り組みが増えていく中、応援・観覧席等も充実させることで大会誘致にもつなげ「スポーツの町うちなだ」の復活とさらなる飛躍を目指せ。

**町長** スポーツの活性化の度合いは、その自治体の活力のバロメーターであると言われている。

新たな総合体育館は内灘町の未来のための重要なインフラ整備で、これからの内灘町の発展を支えるための大切な投資であると考えており、有利な財源獲得手法など情報収集に努めながら、今後取り組んでいきたい。

**生田** 体育施設のほとんどが新耐震基準に適合しない建物となっている。

**町長** ここ数年は義務教育施設の耐震化を最優先に取り組んできたためだ。

**生田** 国から有利な条件での提示があった場合、迅速に対応せよ

**町長** 施設全体の緊急度や優先度を見きわめ、順次耐震調査を実行する。

**生田** 全体育施設の耐震調査に基づき、改修を計画し備えよ。

**町長** 調査を実施していた町総合体育館は、今年度改修工事を実施する。



昭和51年完成の体育館

### 心の教育相談員の制度化を

### 早期に要綱を定めたい

**生田** 平成20年度より内灘中学校において3名に拡充された心の教育相談員は今後、財政的な理由や首長交代等により、なくなる恐れがある。きめ細やかな生徒指導、教育相談体制の充実をはかる点から、制度化するべきではないか。

**教育長** 子供たちが安心して学べる良好な教育環境づくりのため心の教育相談員はもとより、特別支援教育支援員も含めて、適正な要員配置ができるよう取り組む。支援制度の必要性を十分に認識し、早期に要綱を定めたい。

# どうする保育所の「民設民営化」

## 住民合意を前提に進める 町民福祉部長



民設民営化が予定される緑台保育所

**清水** 緑台保育所の千島台地区での民設民営化が中斷している。

私はこの間、「保育所の民営化は情報公開を行なって、児童を主体とし、保護者や地区住民の意見や要望を聞きながら信頼関係のもとに進めていくべきだ。行政からの押しつけではなく慎重に進めるべき」と町に求めてきた。これまでの経過及び現状と今後の進め方を聞く。

## 町民福祉部長

**町民福祉部長** 移管法人が決定していたものの、町の説明不足もあり、近隣住民の方の理解が得られず、移管法人の辞退という結果となった。地元

住民を初め、関係各位にご迷惑とご心配をかけ、深くお詫びする。

今後、千島台地区での建設場所を町会と慎重に検討し、町会並びに近隣住民の理解が十分に得られた時点で決定し、保育所開設の準備を進めたい。

**清水** 移管法人の選定は、町内法人が困難な場合は、町外へ広げる考えは。

**町民福祉部長** 移管法人等の募集は、今後柔軟に対応したい。

## 雇用期間を延長せよ

### 延長せよ

**清水** 当町は勤労者が多く、勤労者の町だ。雇用対策での、県のふるさと雇用再生特別基金事業補助金、緊急雇用創出事業補助金は、雇用期間が3

カ月程度と短く、本当の意味での雇用対策といえるか疑問だ。県の補助金だけの雇用対策でなく、町単独の直接雇用が町で

暮らし、町に税金を納めている人の雇用対策ではないか。町が、上積みをして雇用期間を延長することも可能だ。町としての雇用対策を示せ。

## 町として

### 支援を検討

**町長** 町としても単独の方針を立てたいという思いでいっぱいだったが、厳しい財政事情の中でそこまで達し得なかった。

雇用期間を、例えば6カ月を3カ月間プラスして9カ月とか、1年間に延ばす町の支援は考えなければならぬ。指摘を

しっかりと受けとめて具体的に検討していきたい。

**清水** 県の出張生活・就業相談をさらに充実させ活用せよ。

**町長** 来年3月まで月2回の開催予定をしており、PRに努める。

**清水** 派遣委託は専門職及び育児休業者の補充等に制限されているはずだ。

**町長** 短期間に限定し、応急的かつ緊急的な対応策としてとらえている。

**清水** 派遣ではなく、町の直接雇用で町内の人を優先に雇用すべきだ。

**町長** 来年4月の職員採用までの期間について、対応したもの。

**清水** 向栗崎の空き建物は火災が発生したこともある。安全策を指導せよ。

**消防長** 所有者に対して警察と連携を図りながら指導を強化している。



清水 文雄 議員



水口 裕子 議員

# 新成人を立会人に

## 選挙管理委員会で協議する 選管・書記長

**水口** 衆議院議員選挙が終わった。有権者と政治家の間に、交代させる、交代させられるという緊張感が常にある。

しかし、相変わらず若い世代の投票率が低い。政治に対して白けている若い世代に、「これからの未来は、未来を使うあなたたちで選んでいかなければならないんだ」ということを自覚してもらうために、成人式で有識者から選挙に参加することの大切さを説いた上で、立会人に新成人を公募せよ。

**書記長** 選挙権の意義についてより一層啓発できるように検討して、町選挙管理委員会において協議をしていきたい。

### 容器を再利用できるものに

**水口** ごみ処理経費と処理されるときに出る二酸化炭素削減から、イベントでの使い捨て容器を減らさなければならぬ。

イベント会場では再利用できる食器を町でそろえて、貸し出すようにできないか。

### 現時点では困難

**町長** 使えるものは繰り返し使うというリユースの実践は、町が定めた地球温暖化対策実行計画の中でも提唱していて、今後率先して取り組むべき課題であるが、保管場所や衛生上など難しい面があり、現時点での実現は困難。

**水口** 容器に百円上乗せし、返却時に返金するデジタル「ピカピカ号」の利用ポジット方式を導入せよ。を勧めては。

**町長** 町行事では、極力使い捨て食器を削減するよう呼びかけていきたい。啓発に役立てたい。

**水口** 会議に出されるペットボトルのお茶はやめよ。

**町長** 一律に排除は困難。開催形態に応じて柔軟に対応していきたい。

**水口** 文化会館や町民ホール利用団体の飲食の規制緩和はどうなったか。

**総務部長** 支障のない範囲内で、飲食を伴う使用を認めていきたい。

ピカピカ号の利用を進めよ！



**水口** 会議にはマイボトルを持参するなど、町民の意識改革を進めよ。

**町長** あらゆる機会を通して提起していく。

**水口** 任意団体でも公民館を利用して、交流や飲食ができないか。

**生涯学習課長** 私的な飲食を伴う利用は、公民館の管理上の理由で趣旨にそぐわない。

### 用語解説

**ピカピカ号**とは、使い捨て食器のごみを出さないため、再利用できるプラスチック食器200名分と食器洗浄器などを積み込んで、県から貸し出される2tトラック。



夷藤 満 議員

# 海岸条例の制定を

## 条例化を目指す 副町長

**副町長** 石川県では、海岸は自由使用、自己責任を原則とし、内灘海岸だけに特別な規制をかけることは難しいとの考え。条例化に向け、様々な課題の整理が必要だ。隣接する金沢市との連携も必要で、行政連絡会を通じて金沢市粟ヶ崎海岸を含めた条例化について協議も始めている。

できるだけ早期の条例化を目指す。

**夷藤** 町民がこの町で一番誇れるものとして挙げた第1位に内灘海岸がある。7月に議会で神奈川県に視察に行った。神奈川県民の海を守る意識の強さに感心した。ライフセーバーが存在すればもつと心強いものになる。海岸には、色々な植物をはじめシロチドリも多く、自然豊かなこの内灘砂丘を後世に受け継いでいくためにも、海岸条例の制定を求める。

**夷藤** 海岸に車の乗り入れ禁止区域を設ける必要がある。

**副町長** 町と海の家管理組合が分担し注意看板、境界くいを設置している。

**夷藤** 手軽にできるパラグライダーは、何の規制もない。どう指導するか。

**副町長** 関係する人たちに強く申し入れ、利用者の中で含めて検討する。

**夷藤** ジェットスキーが勢いよく走っていけば、恐怖を感じ非常に危険だ。

**副町長** 海上保安部と運輪局による、取締りとパトロールをさらに強化。

**夷藤** 集客を上げるため、県、国に強く要望し、駐車場を建設せよ。

**副町長** 海岸管理者の石川県と協議し、条例制定の中で含めて検討する。



安全対策が求められる内灘海岸

### 浅電の存続を

**夷藤** 浅電は通勤通学など日常生活に直結している大切なもの。多くの私鉄は法定協議会を設け国の財政支援を受けている。国の支援で、後世に残る私鉄であってほしい。高齢者や障害者も安心して利用でき、公共交通機関の役割をしっかりと果たすことが協議会を立ち上げる最低の条件と思うが、町の考えは。

### 最善の努力する

**町長** 浅野川線は、古くから町民に親しまれ、県都金沢を結ぶ重要な公共交通であるとして認識している。今後北陸新幹線開業に伴う二次交通として、観光振興や交流人口の拡大に期待する。

関係市町と調整を図り、町の財産でもある北陸鉄道浅野川線の存続に向けて最善の努力をしていく。



町民から親しまれている浅電

# ユネスコスクールへの参加を 人づくりの一環として検討 町長



藤井 良信 議員

**藤井** ユネスコスクールのネットワークを活用することで、世界じゅうの学校と生徒間、教師間での交流ができる。

日本ユネスコ国内委員会では、ユネスコスクールが持続発展教育（ESD）の有効な基本となり得るとの提言も採択されている。

学校教育現場での参加と活用について考えをお聞きしたい。

**町長** ユネスコスクールの目指すものの内容は、内灘町が目指しているまちづくりの方向とほぼ同じであり、そういった意味では「国際化時代にふさわしい将来の、町を担う人材を育成する」という基本方針を遂行するためにも参加については、人づくりの一環として、教育委員会で前向きに検討していただきたいと思っています。

## 人格の形成は 教師の責務

**藤井** 教育現場におきましては、教師は児童生徒にとって憧れであり目標であるといえる。生徒の範となるべく教師自身の人格の形成は教師の責務であることから、教師としての人間性や資質の向上はどこで育まれ培われるものと考えているかお聞きしたい。

## 年代に応じて 研修など実施

**教育長** 教師本人が自己研さんのための真剣な努力を重ねるべきことはもとより、町、県の教育委員会が組織的、計画的に新任、若手、中堅、主任など年代に応じて実施している多様な研修などと相まって教師の指導力や人格面の向上が図られていくと考えている。



小・中学校で行なわれているパソコン教室

**藤井** 先生も生徒も俱ともに高め合うという「場」が必要なのでは。

**教育長** 内面からの充実は論をまたず大切なことであると認識している。

**藤井** 改正消防法が4月に成立した。法改正のポイントは何か。

**消防長** 救急搬送や受入れ病院選定の円滑化をはかるため法整備を行なう。

**藤井** 具体的にどのよう  
な改善をはかると考えられるか。

**消防長** 協議会の設置が義務付けられ、医療機関の選定困難事案の解消。

**藤井** 搬送先医療機関が万が一決定しない場合の対応策は。

**消防長** 県が策定する実施基準を遵守し、万全の体制で救急業務に努める。

## 用語解説

ESDは「持続発展教育」という名前に訳されています。2002年にわが国が提案した新たな教育理念です。

地球環境を保全でき、持続可能な社会づくりの担い手となる人間を、初等中等教育の段階から育成することを目指すものです。

# 住宅リフォーム制度の創設を

## 将来的に制度化を検討

副町長

**北川** 従来からの介護保

険等の適用の有無を問わず、町内の業者が住宅のリフォームを行なった場合に工事費の一部の助成を求める。

住宅の改善を容易にし、中小零細企業の振興を促すことにより、地域経済の活性化にもつながる。住宅リフォーム制度を創設せよ。

**副町長** 助成の対象とするリフォームの目的はど

うあるべきか、全国の各市町の例も研究している。さらに内灘町としてどうあるべきか研究し、本来の福祉に資するものであれば、将来的に制度化する方向で検討していきたい。

**保育所の雇用・現状を問う**

**北川** 保育時間の延長に合わせ町はどのような配慮と勤務形態をとり、正規職員、嘱託職員、パートの方の職務をどのよう

にしているのか。民営化を見込んで正規の保育士の割合を少なくしているのではないかと

**民営化を**

**見込んでの対応**

町民福祉部長 連絡帳の活用方法に工夫を凝らしたり、保育参観などの場を通して保護者と保育士とのコミュニケーションを深めたりしている。

保育所の雇用状況は、嘱託職員については保育所民営化の過渡期での対応であり、パート職員が多い状態となっているのは、保育サービス向上のためソフト制の勤務体制導入による。

**北川** はまなす大学は助成金カットで、講座回数減と会費が上がった。

**町長** 見直しを行ない、高齢者が輝くような内灘町を構築したい。

**都市整備部長** 安全性をより確保するための措置を行なう。

**北川** ほのぼの湯が今後どうなるのか不安が多い。町の方向性は。

**北川** 霊園管理料の支払いを、郵便局でもできるようにせよ。

**副町長** 多くの町民が利用する浴場は存続させることを約束する。

**都市整備部長** 次回納付期までに、口座振替による納入方法を検討。

**北川** コンフォモール出入り口は大変危険だ。安全確保に努めよ。

**北川** 霊園内に、車いすで危険な箇所がある。バリアフリー化を求める。

**都市整備部長** 現地を確認し、より安全な道路視界の確保をはかりたい。

**都市整備部長** バリアフリー化に努めて施設の改修、更新を目指したい。



北川 悦子 議員



施工前



浴室バリアフリー化の例



施工後

7 / 22 ~ 23 神奈川県

### 議会基本条例

#### 制定までに2年間

神奈川県葉山町議会では、2年間で35回の検討・審議を重ね、ようやく議会基本条例を制定しました。この条例は議会議員の基本姿勢を定めるものと考え、多数決によらず、全議員の合意を得ることに時間を要したようです。

また、大磯町議会も約2年間をかけた制定し、11月1日に施行される予定となっています。

両町とも議会の一般質問の方式は、一問一答式で制限時間を設けて行っており、予算特別委員会も設置し、予算を審議していました。議会広報には、各議員の表決の結果を、そのまま町民に報告すべきだと考え公表していました。

その他、寒川町のJAさがみわいわい市へ、農産物の地産池消取り組みを視察。菊地店長のリーダーシップ溢れる販売手法を聞かせていただきました。

最後に藤沢市片瀬海水浴場で活動する、神奈川県ライフセービング連盟を訪ね、安全管理と運営について勉強してきました。

神奈川県ライフセービング連盟ホームページに記事掲載あり  
(<http://www.lifesaving.ne.jp/news/>)



片瀬海岸の警備本部

### 内灘町蓮湖渚公園でGG大会

第21回かほく郡市議員グラウンドゴルフ大会が、8月12日晴天の中、内灘町で開催されました。成績は、おもてなしをする気持ちからか、内灘町はかほく市、津幡町に次いで第3位、個人部門でも能村議長の14位が最高でした。



生田議員の選手宣誓



能村議長のパット



白帆のクルー



波と風のクルー

### つばた町民レガッタ大会に参加

第22回のレガッタ大会が8月23日津幡町の漕艇競技場で行なわれ、内灘町議会から2艇出場し清々しい汗を流しました。成績は、練習不足から残念な結果となりましたが、来年は必ず上位進出を誓い合いました。

# 突撃!! あなたの声

## 街かどインタビュー

### 一人ではできない活動だからこそ 仲間を大切にしたい

◆内灘に住んで何年になりますか？

○京都で生まれ育ち、結婚を機に金沢市の諸江町に移り住みました。子供の頃から海の見える場所に住んでみたいと思っていたので、平成12年に内灘町に移り住み、もう9年になります。

◆内灘に住んでみてどのような印象をうけましたか。

○郷土愛に溢れている人がたくさんいるんだなあと感じました。

◆内灘の魅力など気に入っていることを教えてください。

○家族と海で遊べることです。また家族が楽しく遊んでいる光景を見て楽しい気分になります。

◆町への要望などを聞かせて下さい。

○悪天候の続く季節は子供たちの遊び場がないのが不便です。

◆趣味など日頃から楽しんでいことはありますか？

○今とってもハマっているのは7年前から始めたヨサコイソーランです。

◆ヨサコイソーランをはじめたきっかけは？

○千鳥台の盆踊りで「うちなだ愉快的仲間たち」が楽しく踊っている姿を見て、私もやってみようと思いました。

◆ヨサコイソーランを通じて何か気づきや学びはありますか？

○4年前にダンスリーダーに選ばれて以来、今に至っているんですが、踊りの指導を通して感じることは、たくさんメンバーがいてくれ、一人ではできない活動だからこそ、仲間を大切にしたいいつも思っています。

あと、踊っている瞬間は、私たちが楽しく笑顔で踊ることで、見てく

ている人も自然に笑顔になってくれ、「ありがと」っていう気持ちになります。終わったあとは、「楽しかった」ってお声をかけてもらえたりしたときは幸せを感じます。

主人や子供たち（長男と長女）も一緒に活動しているの、「コミュニケーションが図れ、家族の大切さを改めて感じています。

◆座右の銘があれば聞かせて下さい。

○すべての人に対して感謝の気持ちを忘れないようにしています。

◆議会を傍聴したことがありますか。

○平日は仕事をしているので傍聴したことはありません。もし議会が日曜日なら行くと思います。

インタビュー 南 和彦

高桑真弓さん（左端）  
（千鳥台在住）



うちなだ愉快的仲間たちのパフォーマンス



## さまざまなご意見をいただきます 広報モニター決まる

議会だよりは町民と議会との意志の疎通を図り、相互信頼を培うためにとの考え方から、まず「読んでもらえる広報」を念頭に取り組んでいます。

編集では、幅広く意見を取り入れることを目的として、新しく10人の広報モニターの方々に委嘱しました。

今月号より意見や感想をいただきます。よろしくお願いいたします。

- |         |         |
|---------|---------|
| 石橋 恵子さん | 上坂 千春さん |
| 片岡 聖子さん | 高嶋 徳子さん |
| 高田 節代さん | 中條 敏博さん |
| 中谷 勇さん  | 長野 敏幸さん |
| 西川 治樹さん | 森 眞一郎さん |



親しまれる紙面づくりをめざす



各モニターさんへ委嘱状を交付

町議会Eメールアドレス  
gikai@town.uchinada.lg.jp  
町ホームページ  
http://www.town.uchinada.lg.jp

議会のようにインターネットで配信されています。  
**議会録画**  
町ホームページをご覧ください。  
<http://www.town.uchinada.lg.jp>

**議会を傍聴しませんか!!**  
次の議会は**12月**に開催されます。  
傍聴の受付は、当日3階のエレベーター横で行なっています。  
お問い合わせ  
**議会事務局 TEL 286-6715**

**編集後記**

本誌の編集に携わり、3カ月が経ちました。この間広報委員研修に参加するなど大忙しでした。いにしえより「一寸の光陰軽んずべからず」との日本故事があります。寸暇を惜しみ勉学に励むようにとのことです。

今後コミュニケーションを大切に、町民の皆様と議会の双方通信のための「議会だより」編集に取り組んでまいります。

今回は記念すべき100号の特集号となります。ご期待下さい。

(南 和彦)

**広報対策特別委員会**

議長	能村 憲治
委員長	藤井 良信
委員	南 和彦
委員	清水 文雄
委員	北川 悦子
委員	生田 勇人